

みずほマーケット・トピック(2020年3月13日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせて頂きます。

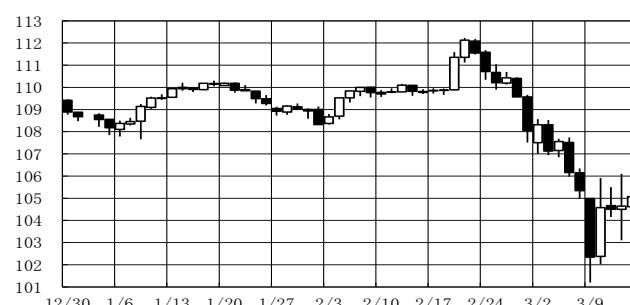
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は週初に急落する展開。週初9日に104円付近でオープンしたドル/円は、週末にOPECプラスの会合で協調減産合意が拒否されて原油価格が大幅に下落したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、ドル売りが加速した。世界的な株安と米10年債利回りが0.5%を割り込む動きに、ドル/円は101円台まで急落し、主要米株指数が暴落に伴い取引停止となつたことから、一時、約3年ぶり水準の101.18円まで下落した。10日は、トランプ米大統領が新型コロナウイルス被害への救済措置をする表明をしたことでのドル/円は徐々に上昇し、日経平均株価と米金利の上昇を受けて105円台前半まで回復した。その後、ムニューシン米財務長官とペロシ下院議長が会談するとの報道もあり、106円付近まで上昇した。11日は英中銀の緊急利下げの影響で欧州株が全面高となる一方、米国の経済政策への期待後退でドル/円は下落し、世界保健機関が新型コロナウイルスをパンデミックと表明したことでの株式市場は弱気となり104円台半ばまで下落した。12日は欧州から米国への渡航禁止の発表と世界的な株安の影響で103円付近まで下落したが、ECB政策理事会の結果を受けてユーロ/ドルが値下がる展開にドル/円は上昇。その後、株式市場が急速に回復する動きに一時週高値の106.10円まで上昇した。本日はやや反落し、105円付近での推移が続いている。
- 今週のユーロ/ドル相場は週後半に安値をつける展開。週初9日に1.14台前半でオープンしたユーロ/ドルは米金利が過去最低水準で推移したことに加え、米株の取引停止も影響し、一時週高値の1.1495まで上昇したが、欧州でも新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、上値の重い推移。10日は米政府の救済措置に対する期待感からドルが買い戻され、1.12台後半までじり安の展開となつた。11日は、後半にかけてドルが買われる展開に1.12台半ばまで下落した。12日は、ECB政策理事会にて量的緩和政策の拡大が決定されると1.13台まで値を戻したが、内容に対する失望や、今週金曜夜から、欧州から米国への入国禁止が開始されることを控え、一時週安値の1.1056まで下落した。本日は1.11半ばでの推移が続いている。

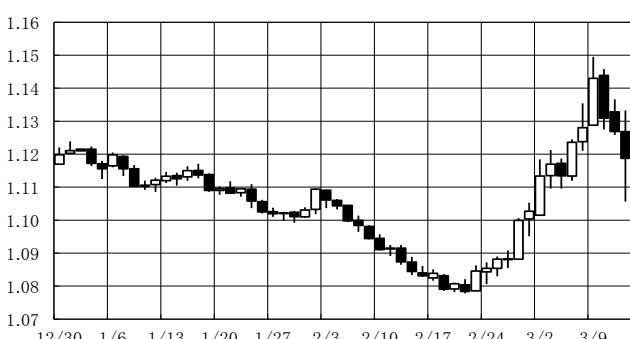
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

ドル/円相場の動向

		前週末	今週			
		3/6(Fri)	3/9(Mon)	3/10(Tue)	3/11(Wed)	3/12(Thu)
ドル/円	東京9:00	106.26	103.98	103.09	105.02	104.57
	High	106.34	104.95	105.91	105.69	106.10
	Low	105.00	101.18	102.02	104.11	103.10
	NY 17:00	105.34	102.34	105.64	104.50	104.64
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1223	1.1387	1.1399	1.1314	1.1261
	High	1.1355	1.1495	1.1458	1.1366	1.1334
	Low	1.1210	1.1288	1.1275	1.1258	1.1056
	NY 17:00	1.1280	1.1430	1.1281	1.1269	1.1188
ユーロ/円	東京9:00	119.25	118.36	117.53	118.89	117.82
	High	119.43	118.69	119.49	119.23	118.31
	Low	118.71	116.18	116.83	117.56	116.31
	NY 17:00	118.96	117.03	119.18	117.92	117.05
日経平均株価		20,749.75	19,698.76	19,867.12	19,416.06	18,559.63
TOPIX		1,471.46	1,388.97	1,406.68	1,385.12	1,327.88
NYダウ工業株30種平均		25,864.78	23,851.02	25,018.16	23,553.22	21,200.62
NASDAQ		8,575.62	7,950.68	8,344.25	7,952.05	7,201.80
日本10年債		-0.14%	-0.16%	-0.05%	-0.07%	-0.06%
米国10年債		0.77%	0.56%	0.80%	0.87%	0.80%
原油価格(WTI)		41.28	31.13	34.36	32.98	31.50
金(NY)		1,672.40	1,675.70	1,660.30	1,642.30	1,590.30



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、17(火)～18日(水)にFOMCが開催される。前回1月の会合では米国経済のファンダメンタルズは依然力強く、雇用も底堅く推移し、経済は緩やかに成長していると総括された。しかしその後、新型コロナウイルスの感染拡大が本格化し、米国でも感染者が確認されるようになると、徐々に企業の活動や個人消費動向に先行き不安が生じた。さらに、景気への悪影響が強く懸念されると株式市場のボラティリティが急上昇し、一方、米金利は2月から1%以上の下落幅を記録している。かかるなか、FRBは今月4日に臨時のFOMCを開催し、▲50bpの臨時利下げに踏み切った。今回会合においても、市場では更なる利下げ観測が拡がっている。ブルームバーグの予想では22人中21人が▲75bp以上の利下げを見込んでおり、うち9人が▲100bp以上の利下げを予想している。
- 欧州では、18日(水)に2月CPI(確報)の発表を控える。今月3日に発表された速報では、エネルギー価格の下落が影響し、前年比+1.2%の結果となり、1月の同+1.4%から減速して3か月ぶりの低水準となった。一方、コアCPIは非エネルギー生産財やサービス部門での物価が堅調に推移したことで、同+1.2%と1月の同+1.1%から僅かに上昇した。速報の数値から大きな変動の予想はなく、足許の物価水準はECBが掲げる物価上昇目標の2.0%を依然下回る推移が見込まれる。
- 本邦では、18(水)～19日(木)に、日銀金融政策決定会合が開催される。前回1月会合では、政策金利の据え置きをはじめ、現行の大規模な金融緩和政策の維持が決定された。また、会合後は米中貿易協議のフェーズ1合意を背景に海外経済の下方リスクは減退しているとの見方が示されていた。ところが、前回会合時から世界情勢が一変しており、新型コロナウイルス感染が世界的に急速に拡大し、各国市場に大きな動搖を与えるなか、今月3日、G7共同声明にて主要国が協調的な政策運営をする方針が示された。米国ではFRBの▲50bpの緊急利下げ、欧州はECBの量的緩和政策の拡大といったかたちで、既に本件に関しての具体的な対応策を示している。かかるなか、来週の日銀の対応にも注目が集まる。

	本邦	海外
3月13日(金)	—————	・米2月輸出物価指数/輸入物価指数
16日(月)	・1月機械受注統計	・米3月ニューヨーク連銀製造業景気指数 ・ユーロ圏財務相会合(16～17日)
17日(火)	・2月工作機械受注(速報)	・米2月鉱工業生産・設備稼働率
18日(水)	・2月貿易統計 ・10～12月期資金循環統計(速報) ・日銀金融政策決定会合(18～19日)	・米2月CPI ・ユーロ圏1月貿易収支 ・ユーロ圏2月CPI(確報)
19日(木)	・日銀総裁定例記者会見 ・2月全国CPI ・1月全産業活動指数	・米3月フィラデルフィア連銀製造業業況指数 ・米10～12月期経常収支 ・米2月景気先行指数
20日(金)	—————	・ユーロ圏1月経常収支

【当面の主要行事日程(2020年3月～)】

ECB政策理事会(3月12日、4月30日、6月4日)

米FOMC(3月17～18日、4月27～28日、6月9～10日)

日銀金融政策決定会合(3月18～19日、4月27～28日、6月15～16日)

G20財務相・中央銀行総裁会合(4月16～17日、7月18～19日)

市場営業部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鑑大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (*Archives*) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2020年3月11日	ECB政策理事会レビュー～実質的なデビュー戦～
2020年3月10日	日銀の「次の一手」を考える～GPIFとの共同戦線は？～
2020年3月9日	ドル安相場の当然の帰結～疫病は契機に過ぎず～
2020年3月6日	週末版
2020年3月5日	欧州難民危機再び？～「見えない脅威」と「見える脅威」～
2020年3月4日	不要不急の利下げで自滅したFRB
2020年3月3日	各國政府・中銀の政策協調姿勢を受けて
2020年3月2日	最強通貨に振り咲いた円～年初来変化率がプラスに～
2020年2月28日	週末版(メインシナリオに関するリスク点検～疫病リスク、米利下げ、円高)～
2020年2月27日	健在だった「安全資産としての円買い」と加速する悲観
2020年2月21日	週末版(逃避されるユーロ～通貨貿易政策として先鋭化するマイナス金利政策～)
2020年2月20日	円急落は「日本売り」の結果なのか？
2020年2月19日	危機モードが続く為替市場と無国籍通貨「金」の上昇
2020年2月18日	ユーロ圏経済の現状～中国とユーロ圏が風邪を引くと…～
2020年2月14日	週末版
2020年2月13日	それほど信頼できない「3月円高説」の実情
2020年2月12日	流動化し始めたドイツ政局～メルケル退陣まで1年半余り～
2020年2月10日	良好な雇用統計が浮き彫りにした市場の「甘え」
2020年2月7日	週末版(上がりそない原油価格～3つの理由と共にドル/円相場への含意を考える～)
2020年2月6日	改善が続く企業マインドをどう読むべきか
2020年2月4日	ポンド相場の現状と展望～遠すぎる物価「2%」～
2020年2月3日	フレグジットQ&A～アイルランド問題から漁業権問題へ～
2020年1月31日	週末版
2020年1月30日	FOMCを終えて～新型肺炎リスクと減速軌道の米国～
2020年1月29日	メインシナリオに関するリスク点検
2020年1月28日	デジタル通貨を巡る4大勢力～群雄割拠を読み解く～
2020年1月27日	疫病リスクと金融政策への影響などについて
2020年1月24日	週末版(ECB政策理事会を終えて～やや先走り感のあるラガルド総裁～)
2020年1月22日	日銀金融政策決定会合～「政熱絶冷」という運～
2020年1月21日	ECB政策理事会レビュー～底打ち機運に乗り静観～
2020年1月20日	米大統領選挙と為替～潜む一抹の不安～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年12月分)
2020年1月17日	週末版
2020年1月15日	「1998～99年」との違いはどこにあるのか～その②～
2020年1月14日	中国の為替操作国認定解除を受けて～ドル売り介入の催促～
2020年1月10日	週末版(「調達通貨は円よりユーロ」の答え合わせ～中東リスクを前に～)
2020年1月9日	予防的利下げの成否～「98年型利下げ」と「99年型利上げ」～
2020年1月8日	軍事衝突と原油高への考え方～円高は不幸中の幸いか？～
2020年1月6日	2020年、レンジ脱却に必要なもの～その②～
2019年12月25日	2020年、レンジ脱却に必要なもの
2019年12月24日	2020年の想定外はどこにあるのか？～6つの論点～
2019年12月23日	スウェーデン、マイナス金利解除の読み方～2020年への示唆～
2019年12月20日	週末版
2019年12月19日	米大統領選挙の左派リスクは2020年の波乱要因か？
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年11月分)
2019年12月18日	やはり上げを失ったボンド相場～政治も金融もボンドの足枷～
2019年12月17日	日銀金融政策決定会合レビュー
2019年12月16日	英総選挙を終えて～「次の山」は2020年6月末に～
2019年12月13日	週末版(ECB政策理事会を終えて～フクロウ型総裁の「人となり」～)
2019年12月12日	FOMCを終えて～「タカ派的利下げ」から「ハト派的現状維持」～
2019年12月11日	円の基礎的需給環境～基礎収支に映る変化～
2019年12月10日	道標を失った為替市場～マイナス金利解除がキーに？～
2019年12月9日	英国総選挙の論点整理～事実上、「2度目の国民投票」～
2019年12月6日	週末版(2019年の為替市場を概観する～円は結局強かった～)
2019年12月5日	ECB政策理事会レビュー～デビュー戦、3つの見どころ～
2019年12月3日	ドイツ政局の流動化について～メルケル退任まであと2年～
2019年12月2日	金融政策に環境配慮は必要か？～制御すべきは気候ではなく物価～
2019年11月29日	週末版
2019年11月26日	円安リスクの点検～「ツケ」が怖い2020年～
2019年11月25日	名目実効為替相場(NEER)で読む2019年のドル相場
2019年11月22日	週末版(ドラギ元総裁、最後のECB政策理事会議事要旨～「結束(unity)」と財政政策～)
2019年11月20日	「ドル化した世界」で進む「金融政策の一本化」
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年10月分)
2019年11月19日	ドイツは底打ちしたのか？～リセッション回避も残る不安～
2019年11月18日	「株価の虧」と「予防的緩和」について考える
2019年11月15日	週末版(ラガルド体制の「overhaul(刷新)」ミッションの行方～総裁会見と投票方式について～)
2019年11月14日	欧州の「弱さ」源泉～輸出拠点が裏目にたドイツ～
2019年11月13日	円高予想の誤算と「ドル化した世界」という悩み
2019年11月12日	動かない相場の背景にある「円の不人気」
2019年11月11日	「公的デジタル通貨 vs. リبرا」の様相に
2019年11月8日	週末版
2019年11月1日	週末版
2019年10月30日	ラガルド新ECB総裁を巡る3つの論点
2019年10月29日	円安リスクの点検～欧州・中国の復調はあるか？～
2019年10月28日	ドラギ総裁最後のECB理事会～危機の「生き字引」～
2019年10月25日	週末版
2019年10月24日	またも史上最小値幅～体感「5円」以下という異例～
2019年10月23日	「リブラ」阻止で一致するG20～ザッカーバーグ証言を前に～
2019年10月21日	思い出したいた「10月31日」の経緯～次に起ることは～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年9月分)
2019年10月18日	週末版(2度目の離脱協定案合意～3つの論点を整理～)
2019年10月16日	FRBのTB購入を受けて～欲しかった「ずる賢さ」～
2019年10月11日	週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて～議論紛糾の読み方、議事要旨としては秀逸～)
2019年10月10日	円相場の需給環境について～縮小均衡～
2019年10月9日	FRBの資産購入再開と懐かしのソロスチャート
2019年10月8日	揺らぐリブラ計画～初のメンバ一脱退表明を受けて～
2019年10月7日	米9月雇用統計を受けて～「思ったより悪くない」の危うさ～
2019年10月4日	週末版(製造業から非製造業への波及は始まったのか～ISM景気指標の悪化を受けて～)
2019年10月3日	ユーロ圏の物価情勢の現状と展望～日本化の過渡期？～
2019年10月2日	ISM製造業景気指数の「底」は見えそうか？
2019年9月27日	週末版(三度起こった「ドイツの乱」～ラウテンシュレガーECB理事辞任の読み方～)